

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

昨年は、何とか無事に東京オリンピック・パラリンピックを開催できましたが、その後の新型コロナウイルス第5波は想像以上で重症者も増え、緊急事態宣言も長引く中、いつ収束するのか誰もわからず大変な状況だったと思います。このため昨年も生活や仕事のスタイルをその都度、試行錯誤を繰り返しながら、変化させて対応してきました。しかしながら、その中で、お客様始めステークホルダーの方と直接お会いしてのコミュニケーションが如何に重要であるかを知らされました。おそらく今年はウィズコロナの状況が継続すると思います。ウィズコロナの状況の中で、しっかりと状況に応じたフレキシブルな対応を確立していきたいと思っております。

さて昨年、当社のビジョンを「EMM 三位一体で真の優良企業へ」と決めました。

Engineering, Manufacturing, Maintenance の3事業をそれぞれ醸成させ、しっかりした柱にしていきたいと思っています。また昨年は、東レグループの行動指針の中で「安全と環境」「倫理と公正」「お客様第一」「現場力強化」「人材重視」を重点課題として取り組んできましたが、まだ道半ばの状態です。昨年の反省を糧として、引き続きこの5テーマが定着するように取り組んでいきます。その思いも込めて、今年の会社方針を

**「変化を先取り！ さらなる飛躍！ 一体質強化 確かな実行ー」としました。**

引き続きすべてのステークホルダーの方々とともに成長していく企業を目指し、社会貢献していきたいと思っています。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 大坪伸光

## “トピックス”

### 11月29日-12月6日 リスクアセスメント教育を実施

社内外の現場において労働災害を起こさないために、リスクアセスメントを実施してリスクの低減を図り、災害防止に努めておりますが、リスクアセスメントの方法やリスクの抽出、対策方法に不備があると労働災害に繋がってしまいます。

今回、東レエンジニアリング安全環境部より講師を招き、当社従業員だけでなく、同じ現場で作業する協力会社を始め、東レ、殖産社員の方々にも受講いただき、リスクアセスメントとK Y（危険予知）の違い、正しいリスクアセスメント、手法などについて学びました。

(担当部署：安全管理部 077-534-0956)



## 東レ 報告会で保全努力賞を受賞

石川保全事業部は、東レ石川工場の繊維製造設備の保全を担当しています。

11月24日に開催された東レの設備管理技術報告会で、石川工場テトロン製造工程梱包ラインでのトラブル削減に向けた取り組みが評価され努力賞を受賞しました。報告内容は、梱包ラインでのチョコ停減少や紙管破損ゼロに向けた取り組みです。

(担当部署：石川保全事業部 0761-51-7510)



## 業務報告会の開催

当社では人材育成の一環として、1次から3次に分けた社員階層ごとに、その年の対象者による業務報告会（アセスメント）を毎年開催しています。今年度は10月に1次、11月に2次、12月に3次の日程で実施しました。

報告者は、自身が担当する業務の課題や取り組んだ内容や成果、今後の目標や課題などについて報告しました。報告後は、審査員から質問やアドバイスをもらい、今後の業務に活かしていきます。

(担当部署：総務部 077-534-0956)



本社



愛媛



審査員との質疑応答（本社）

## 東レエンジニアリンググループ「ちりつも作戦」

東レエンジニアリンググループでは、経費節減・工数削減を目的に、グループ全体で塵も積もれば山となる「ちりつも作戦」に取り組んでいます。

当社でも各職場でそれぞれ工夫して取り組んでいますので、その取り組みを紹介します。

### **W T E のちりつも作戦⑤**

制御盤製作現場では、部品の入荷確認専用のキャスター付きの机を導入しました。

別途机を用意していた時と比較して、準備時間を削減することができ、さらに部品のある場所への移動・確認作業が容易になり、確認作業がスムーズに行えるようになりました。

